

No.143
2021
Winter

Hachinohe
Institute
of
Technology
Press
SOUKYU

蒼穹

学校法人八戸工業大学 広報

H. I. T. Communication



八戸工業大学第二高等学校
美術コース誌上卒業制作展

CONTENTS

八戸工業大学第二高等学校

- p2-3 美術コース誌上卒業制作展／進路中間報告／SDGs達成のために（ケンタロ・オノ氏講演会／はしかみフードパントリー／長者こども食堂／企業見学）／公務員インターンシップ／超ショートショート講座

八戸工業大学

- p4-5 新年を迎えて／地域とつながるプロジェクト／OBからのメッセージ／彩才祭開催／ただいま活動中！／三部会役員改選
- p6-7 バレーボール部1部昇格／ロボコン／博物館連携／学園祭表彰／図書館だより／月舘元教授、文化庁表彰／50周年に向けて／安全祈願祭／教育改善シンポジウム／同窓会より寄贈／2021年度入試日程／主な予定

八戸工業大学第一高等学校

- p8-9 第51回工大祭／バスケットボール部全国大会へ／将棋部女子の活躍／進路中間報告／毒物劇物取扱試験合格／危険物乙種全類取得／クリーン白銀／マイスター技術者指導

さくら幼稚園

- p10-11 クリスマスはつばようかい／かたぐるま／ようちえんってこんなところ／とらんぼりん

八戸工業大学第二高等学校附属中学校

- p12 第2回校外学習／3年生修学旅行／知財創造力育成授業
- p12 お知らせ／理事会

Mobile & iPhone & Android
モバイルサイトへアクセス▶▶▶



美術コース誌上卒業制作展



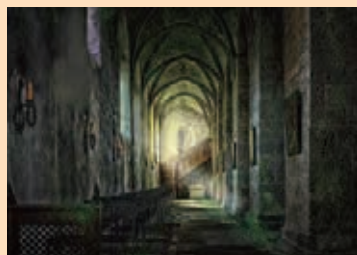
昭和の街／旭商会 CG/B2
葛西 祐佳 (市川中)



昭和の街／湊の街 CG/B2
葛西 祐佳 (市川中)



パンドラの箱 油彩/F100
佐藤 愛莉 (三沢二中)



教会の中で CG/B1
高嶋 李里 (堀口中)



イラストポスター CG/B2
柿 叶望 (階上中)



中尊寺ブランドデザイン CG/B1
石山 咲来 (八戸三中)



様々な「食べもの」がテーマの
ポスター CG/B2
吉田 百斗実 (北稜中)



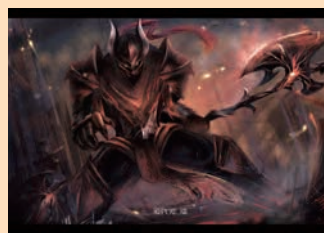
U CG/B2
沢尾 結花 (天間林中)



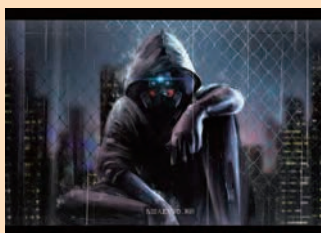
雲と月 板・アクリル/60×30cm
小林 千由樹 (三沢三中)



日常 油彩/F50
刈谷 侑香 (三条中)



Garble of memory CG/B3 河村 紫乃 (木ノ下中)



令和3年度 進路状況中間報告

【国公立大学】 弘前大学2名、山形大学2名、東京学芸大学、北海道教育大学函館校、岩手大学2名、信州大学、筑波大学、青森県立保健大学、岩手県立大学、青森公立大学、秋田公立美術大学、金沢美術工芸大学、長岡造形大学、岩手県立大学宮古短期大学部、山形県立米沢女子短期大学

【私立大学】 東海大学、日本医療大学、札幌国際大学、北海道医療大学、八戸学院大学8名、八戸工業大学18名、弘前医療福祉大学2名、岩手医科大学2名、宮城学院女子大学5名、東北学院大学2名、東北福祉大学3名、東北工業大学、東北文化学園大学、日本赤十字秋田看護大学4名、東北芸術工科大学、筑波学院大学、白鷗大学、獨協大学、東京国際大学2名、城西大学、淑徳大学、城西国際大学、千葉工業大学、東京情報大学、明治学院大

令和3年度学校推薦型・総合型選抜入試の結果が出そろった。1月7日現在、国公立大学に18名、私立大学に94名が合格を果たしている。一般入試の結果は3月以降に確定する。

学、日本社会事業大学、法政大学、東京工芸大学、拓殖大学、専修大学、大妻女子大学、ヤマザキ動物看護大学、尚美学園大学、東京造形大学2名、女子美術大学、多摩美術大学3名、昭和音楽大学、関東学院大学2名、横浜美術大学、女子美術大学、新潟医療福祉大学、大阪国際大学、拓殖大学北海道短期大学部、昭和音楽大学短期大学部、女子栄養大学短期大学部、八戸学院大学短期大学部5名、聖和学園短期大学、仙台青葉学院短期大学、青森中央短期大学

【専修学校・各種学校】 北海道中央調理技術専門学校、札幌看護医療専門学校、八戸保健医療専門学校5名、東北メディカル学院2名、八戸看護専門学校、アレック情報ビジネス学院3名、S.K.K情報ビジネス専門学校、盛岡医療福祉スポーツ専門学校2名、岩手リハビリテーション学院、

盛岡ペットワールド、仙台工科専門学校2名、日本デザイナー芸術学院、仙台理容美容専門学校、専門学校東北動物看護学院、東北文化学園専門学校、仙台ヘアメイク専門学校、大原情報簿記専門学校2名、仙台ウェディングブライダル、仙台スイーツ&カフェ専門学校、東京総合美容専門学校、府中看護専門学校、大原医療秘書福祉保育専門学校、東京ビューティーアート専門学校、ハリウッド美容専門学校、日本工学院専門学校、文化服装学院、総合学園ヒューマンアカデミー

【就職】 (株)アクセスブリッジ、(有)一勝家口建設、アートコーポレーション(株)、(株)ジーアイテック、(株)ツルハ2名、アイリスオーヤマ(株)2名、(株)社寺真、(株)一心亭、(株)ファクトリージャングループ、(株)バンズダイニング、陸上自衛隊(一般曹)、陸上自衛隊(自衛官候補生)



地球市民として環境への責任を

ケンタロ・オノ氏講演会
地域ESD活動推進拠点事業



1月13日、ケンタロ・オノ氏（日本キリバス協会代表理事）を招いて、地球環境問題理解のための講演会を行った。

オノ氏は、太平洋の島国・キリバスの文化や生活について軽快な語り口でユーモアたっぷりに紹介。温暖化による海面上昇で海岸が浸食されつつあり、2050年には国の8割が浸水する恐れがあること、それを食い止めるためには世界が協力して温室効果ガスを大幅に削減する必要があることを訴えた。生徒たちは、現地の方々の生活が手に取るように感じられるお話に、胸を打たれた様子であった。

畠山 桜さん（カレッジコース2年／七百中）は、「キリバスの自然は美しく、住民の方々の笑顔が印象的だった。先進国の便利さを求める生活がそれを破壊していると思うと、私たちの生活のあり方を考え直す必要がある。オノさんの行動力や献身的な姿勢に感動した。」と話した。



子どもたちに元気を届けたい！

フードパントリー活動

2学年探究的な学習では、フードパントリー活動を行っており、昨年10月、ギフトショップ(株)ハリカ八戸様から800個以上のお菓子を寄付して頂いた。生徒のアイデアで、お菓子には1人分ずつ手書きのメッセージを添えて、階上町の学童保育園4カ所へ寄贈した。お菓子を受け取った子どもたちからは「おいしかったよ」「今度は一緒に遊ぼうね」などのお礼のメッセージが届いた。生徒たちは「子どもが喜んでくれて嬉しい。私たちの活動を支援して協力してくれる企業や団体の方々に感謝したい」と話していた。



ALTアンディ先生の出張英語教室！

クリスマスは英語で遊ぼう！・こども食堂

12月19日、長者公民館で行われた小学生対象クリスマス会（ちょうじゃこども食堂主催）で、本校のALTアンディ・ウィン先生の出張英語教室が開催された。アンディ先生はアメリカ出身の26歳、八戸工大一高やさくら幼稚園でも英語の授業を受け持っている。



クリスマス会では25名の子どもたちとボランティアの高校生が、歌やゲームを通じて英語に親しんだ。アンディ先生は「地域の方々と交流できて楽しかった。子どもたちが英語を好きになって、外国のことに興味を持ってくれると嬉しい」と話していた。



産業から地域を学ぶ

2学年企業見学

10月21日、2学年の生徒195名はクラスごとに分かれて八戸市内の事業所8カ所を訪問した。工場や店舗の見学、作業体験などを通じて、地域経済を支える各企業への理解を深めた。(株)パセリー菜のおいらせ工場を見学した村上璃奈さん（情報ビジネスコース／種市中）は「フラワーショップだと思っていたが、花の輸入販売、種や苗の生産など幅広く事業を展開していることを知り、こういう会社で働いてみたいと思った」と感想を述べていた。



情報ビジネスコース 公務員インターンシップ

12月23日、情報ビジネスコース1年生が、八戸警察署と八戸消防署にて、職場体験学習を行った。職業意識の早期育成をはかるとともに、生徒の社会的な視野を広げることが目的として実施されたものである。警察署見学では、実際に指紋鑑定を体験した。生徒らは興味深い様子で、職員の方々の説明を聞いていた。



執筆・出版ワークショップ「超ショートショート講座」

12月25日、八戸ブックセンター主催「超ショートショート講座」がはっちで開催され、本校生徒1・2年の希望者24名が参加した。若手作家の田丸雅智氏を講師に迎え、原稿用紙1～3枚程度の「超ショートショート」小説を創作するというユニークな内容で、書くことに関心のある生徒がアイデア発想から作品完成までを楽しんだ。完成した作品は田丸氏から講評をいただき、冊子として進呈される予定となっている。



新年を迎えて 学長 坂本 禎智



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、地球規模で新型コロナウイルスの感染が拡大し、社会・経済活動、日常生活などが大きな影響を受け、混沌とした社会に変容した年でした。現在も終息が見えない状況にあります。本学も、授業は何とか対面を中心に実施で

きたものの、様々な大学行事が中止となり、学生の課外活動やサークル活動も多くの制約を受け、人間的な成長に欠かせない「人との交流」が困難な状況が続きました。秋にようやく、感染予防対策を徹底しながらの学園祭、彩才祭を開催することができました。このイベントで学生たちは、主催者側の立場として、ウイルス感染予防対策をいかに講じてイベントを成功に導くかを考えて実行するなど、これらの行事は、学生たちにとって課題解決型学習の場として絶好の機会となりました。

また本学は、このコロナ禍にあって、医療機関へのPCR検体採取ボックスの提供、タクシー等での車内感染防止対策技術の提案、医療施設内での感染防止対策に結び付く空調・換気状況の可視化支援など、本学が有する専門性や技術面で多くの社会貢献を果たしました。今後も、本学の有する高い専門性を駆使して社会に貢献してまいります。

さて本学は、平成26年から令和元年度までの6年間、国

が進める教育改革に積極的に取り組む高等教育機関の一つとして、文部科学省の大学教育再生加速プログラム（AP）に採択され（採択率19.5%）、「学修成果の可視化」を前提とした「教育の質保証」の実現に取り組んできました。昨年はその総括としての事後評価の年であり、今年度中にその評価結果が示されます。また、国内すべての高等教育機関が、7年以内ごとに国の認証評価を受けることが義務付けられていますが、昨年本学は、日本高等教育評価機構（JIHEE）が実施する機関別評価の審査を受け、大学の使命・目的、教育課程、経営・管理と財務、内部質保証等に関わる基準項目について、書面協議やオンライン面談に臨みました。その評価結果も今年度中に公表されます。この審査に当たっては、上述のAP事業での「教育の質保証」の先進的な取組がその評価に大きく繋がるものと期待しています。

いま社会は、Society5.0社会、人生100年時代、コロナ禍を契機としたニューノーマル社会の到来など激変の渦中にあり、高等教育機関にはこのように変化の激しい社会を生きる力の育成が求められています。本学はこれまでに築いた教育の質保証システムを活用し、そのような能力をしっかりと育成してまいります。また、AI・IoT時代に通用する人材、分野横断的な幅広い視野をもった人材の育成など、時代の要請に応える教育を実施するべく、令和4年度にスタートする新しい教育体制の準備も進めています。今後も成長発展へとたゆまぬ努力を重ねてまいります。

今年もよろしくお願いいたします。

地域とつながるプロジェクト進行中

創生デザイン学科では六ヶ所エンジニアリング㈱と連携し、六ヶ所村来訪者へのノベルティグッズの制作を行っている。これは、これまでに修得したデザインの学習成果を活用し、実際に製品を作り出すことを目標に、本学科の科目課題として行うものである。



昨年10月26日に六ヶ所村を訪問。高度なエネルギー関連施設やメガソーラー施設、長芋焼酎醸造工房などを見学した。学生はグッズの製品化を目指してCADや計算ソフトを駆使



して最終的なデザインをまとめ、同社の協力で作品の試作を行った。2月には六ヶ所村関係者へのプレゼンテーションを行う予定となっている。

OBからのメッセージ ～思い出の卒業研究、世界へ～

生命環境科学科OBの佐藤史幸です。私が学生時代に取り組んだ卒業研究の一部が、ドイツの「Botanica Marina」誌に



学術論文として掲載されました。国の特別天然記念物にも指定されている浅所海岸をフィールドに、渡り鳥が海草コアモに（写真右）与える影響を調査したものです。自分の研究成果が世界の研究者の目に触れると思うと、非常に嬉しいです。

本研究は平内町から調査の機会をいただいたことがきっかけです。当時、海草に関心があった私は「こんなチャンスは滅多にない！」と思い、研究に挑戦しました。辛く苦しい時もありましたが、研究を通じて平内町の皆さんと出会い、ドローンによる初の空撮や、真冬の海に入っの調査など、本当にたくさんの貴重な体験を積むことができました。

新しいことへの挑戦は少し抵抗があるかもしれませんが、しかし、一歩踏み込めば、そこには驚きや発見、出会いが必ずあります。どうぞ皆さんも「面白そう！」と感じたことには挑戦してみてください。その経験はいつか、きっと皆さんの役に立ちます。

2019年度卒業 生命環境科学科田中義幸研究室 佐藤 史幸

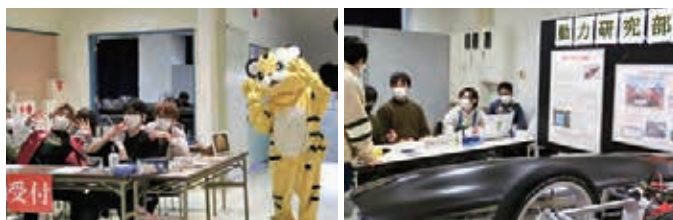
彩才祭開催

今年度も大学関係者及び三部会役員の協力を得て、11月7日・8日にショッピングセンターラピアにて文化会主催「彩才祭」を開催することができました。

今年度は新型コロナウイルスの影響のためか例年と比べて来場者数が少なく、2日間合わせても150人程でした。来場して頂いた地域の方々に興味を持っていただけてよかったです。

最後になりますが、関係各位の皆様、ご協力いただき誠にありがとうございました。

文化会会長 花部 永遠(システム情報工学科3年/むつ工高)



ただいま活動中!

方言研究会

私たち方言研究会は、2018年から青森県南部地域の方言の保存と継承に取り組んでいます。若い世代と年配の世代の言葉の壁をなくすためには、方言と共通語(標準語)を相互に翻訳するツールがあると便利だと考え、共通語を方言に翻訳する研究をしています。

開発に取り組んでいる翻訳アプリケーション「OK.Hougen!」を活用し、イベントにも参加してきました。

今年度は、みちのく・ふるさと貢献基金より助成金をいただき、より難易度の高い方言から共通語への翻訳に挑戦しています。

新作の翻訳ツールの実用化を図るため、プログラムの調整をしながら改良を進めており、登録した方言の音声認識ができるようになってきました。なかなか厳しい道のりですが、頑張っていきたいです。

松橋 汰一
(システム情報工学科4年/八戸西高)



漫画研究会

私たち漫画研究会は、今最も熱いアットホームかつパワフルかつ信頼と実績のある激アツサークルです。2年前は学内で印刷した薄い冊子を学園祭で、100円で販売するような部員3名の小さなサークルでした。現在は発展して、部員13名となりました。

当研究会の主な活動は何と言っても部員一人一人がオリジナル作品を手がけ、冊子とし販売している事です。その甲斐あって、今年の「工大祭」では見事 HIT グランプリ3位を勝ち取ることが出来ました。また、現在「学生チャレンジプロジェクト」の助成を受け、部員のイラストレーションスキルを生かし市内にコロナウイルス感染防止対策を呼びかける「超・コロナ対策」という活動をしております。

漫画研究会は一年中部員募集中なのでお気軽にお声がけください!連絡先は校内のチラシに掲載されております。

部長 久慈 彩華
(創生デザイン学科3年/八戸工大二高)



三部会新役員

11月18日、新年度三部会役員が坂本禎智学長(前列中央)を訪ね、就任挨拶と抱負を語った。

<新役員>

学友会委員長 三田 知広
(茨城・勝田高/前列右)

体育会会長 松浦 輝
(八戸中央高/後列左から2人目)

文化会会長 猪股 愛華
(秋田・由利高/後列左)



～あいさつ～

この度、新学友会委員長に着任いたしました、システム情報工学科1年三田知広です。

初めに、学友会の委員長になれたことを素直に喜んでおります。まだ1回生である私が実力不足と思われることはあるでしょうが、新三部会役員と共に協力し、新しい時代を作り上げていきたいと思っております。

今後の活動で私は、「チャレンジ」というテーマを掲げ、新しいことに挑戦していきたいと考えております。これまでの八戸工業大学の伝統は守りつつ、新時代を切り開いていく所存です。最後に、新三部会をよろしくお願い致します。

第56回東北バレーボール大学北リーグ戦2部優勝・1部昇格

本学は、11月14日・15日に秋田県横手市・雄物川体育館で行われた「第56回東北バレーボール大学北リーグ戦」に参戦した。

今回のリーグ戦が最後の試合となった4年生エースの円子彪我（土木建築工学科／八戸工大一高）、センターの上田洗樹（機械工学科／八戸工大一高）、リベロの和田 柊（土木建築工学科／青森工高）が攻守に渡って大活躍し、逆転での優勝を決め、1部昇格を果たした。

結果は、次の通り。

1回戦 2－0 対 岩手県立大学
準決勝 2－0 対 盛岡大学
決勝 2－1 対 岩手大学



第23回ロボットコンテスト

機械工学科3年生開講「プロジェクト実習」の成果発表会を兼ねた第23回ロボットコンテストが、1月8日・12日に分けて工作技術センターにて行われた。7月から設計を重ね、9月から製作が行われてきた。

競技は、オリンピックをモチーフにした円盤を運ぶものと指定場所に設置するものの2台のロボットが連携し、タイムトライアルで競われた。



図書館だより

図書館では通常の図書貸借サービス等に加え、学生がレポート作成や研究活動のための文献調査や情報収集に利用できるようインターネット環境や電子書籍の整備、資格取得に関する資料を揃えている。

八戸ブックセンターから依頼のあった企画として「ひと棚」コーナーに推薦した小久保温教授（システム情報工学科）お薦めの書籍や、【アカデミックトーク】の講師を務めた星野保教授（生命環境科学科）のトーク内容と著書の紹介を行っている。



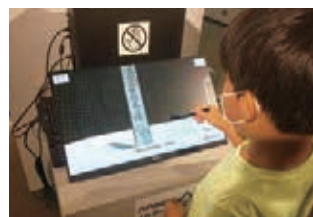
ひと棚



アカデミックトーク

八戸市博物館と連携

八戸市博物館で開催された「夏期特別展「飢饉の郷土史～八戸ケガジ録～」」にて、システム情報工学科の学生・教職員が開発したシステムやアプリが、2020年7月4日～8月23日まで展示された。開発した展示物は、八戸市内に建てられている飢饉に関わる石碑等を3DCGで再現した「八戸の石碑3Dデータ「ぐるぐる」」（写真）（伊藤研究室）、飢饉の時に食べられていた「かてもの（救荒植物）」に関するクイズを出題する「かてものクイズ」（小玉研究室）、災害時にどう対応すべきかを出題し防災率を表示する「災害対策クイズ」（小玉研究室）の3点である。これらの展示物は、昨年度から始まった本学と八戸市博物館との共同研究の成果で、今後も研究内容をまとめたイベントの開催を予定している。



「八戸の石碑3Dデータ「ぐるぐる」」

システム情報工学科 教授 小玉 成人

学園祭 展示部門表彰

11月18日、第48回学園祭（10月10日・11日開催）の展示部門表彰式が行われた。

例年とは異なる状況下での学園祭開催に、坂本学長から学生へ労いと激励の言葉が贈られた。

〈学科研究展示部門〉

- ・学長賞 伊藤研究室
- ・学務部長賞 構造研究室、片山研究室、小玉研究室

〈課外活動展示部門〉

- ・学長賞 吹奏楽部
- ・学務部長賞 鉄道研究会、ICT研究会、動力研究部



学園祭では、普段は目にすることができない蔵書や学生から購入希望のあった図書などを展示。読書週間に伴う八戸学院大学図書館との合同企画「読書週間図書交換展示」では、双方の図書館蔵書に少ない分野の図書を学生が作成したポップ（紹介文）付きで展示、館内で閲覧・貸し出しも行った。

また、学生が本に興味を持ち、実際に手に取ってもらうことを目的として、「大学生活応援」・「今月の館長のおススメ本」・「各学科に関連する本の紹介」・本学教員が執筆した「本学教員著書」など図書コーナーで資料を展示し、取り組んでいる。



八学コラボ



学生応援

月舘敏栄本学元教授、文化庁より表彰

文化財の保護に功績があったとして、文化庁は令和2年度地域文化功労者表彰を発表。本学土木建築工学科元教授月舘敏栄氏が表彰されることになった。

永年にわたり青森県文化財保護審議会会員を務め、地域文化の振興に多大な貢献をしたことを讃えたものである。1月24日、京都市にて表彰式が行われる。



八戸工業大学創立50周年に向けて

八戸工業大学は、1972年地域の要請を受けて創設され、2022年には創立50周年を迎えます。そこで、本学では2021年度をプレ・イヤーと定め、創立50周年事業実行委員会設立のもと、記念式典や講演会、シンポジウムなどの記念行事、シンボルマーク募集やこれまでの業績の整理・展示などの記念事業、記念誌発行などを行う予定です。詳細については、ホームページに掲載していきますので、ぜひご覧ください。



八戸工業大学は、多くの皆さまに感謝するとともに、新時代へ向けて未来を描き、さらなる進化成長を目指していきます。

安全祈願祭

三嶋神社宮司を招いての安全祈願祭（禰祭り）が、工作技術センターにて11月6日に執り行われた。当センターは、本学の授業を始め、関係各校や学生サークル、地域の課題解決のための技術提供等に幅広く活用されている。今では珍しい道具となった木製の禰（ふいご）は、技術の継承と利用者の安全・健康を見守る象徴として、工作技術センターに大切に保管されている。



教育改善シンポジウム

2020年12月25日、「改組に向けた本学教育の目指すべき方向性」をテーマにオンラインを併用して、教育シンポジウムを開催した。

本学は、2022年度の改組でカリキュラム改訂を予定しており、2019年度までの6年間文部科学省「大学教育再生加速プログラム（通称 AP 事業）」として「学修成果の可視化」に取り組んできた。

これらのことから、本シンポジウムでは、中長期的な視点から本学教育の目指すべき方向性、並びに近年取り組んできた AP 事業の総括と今後の展開等について情報共有し、改組後の将来のあるべき姿について意見交換を行った。



水交会より寄贈

10月14日、本学電気系同窓会「水交会」（岩本明佳会長）より電気電子工学科に新型コロナウイルス感染防止対策品（検温機能付き手指消毒機7台、非接触型体温計2台）が寄贈された。

寄贈式では、岩本会長が「安全な教育環境づくりに大いに役立ててほしい。また、後輩である学生たちがコロナに負けないで勉学に励み、将来に向けて頑張ってもらいたい」と述べ、関秀廣学科長に目録を手渡した。

検温機能付き手指消毒機は学科内の教室や実験室などに設置され、非接触型体温計は簡易的に体温を測る際に使用されており、新型コロナウイルス感染防止対策に大いに役立っている。



2021年度入試日程

入試区分		願書受付期間（必着）	試験日
総合型選抜試験	第3クール	1月25日(月)～1月29日(金)	2月10日(火)
	第4クール	3月1日(月)～3月5日(金)	3月10日(火)
一般選抜試験	前期	1月4日(月)～1月22日(金)	2月2日(火)
	後期	2月15日(月)～2月26日(金)	3月5日(金)
特別選抜試験 (社会人・外国人 留学生・帰国生)		後期 3月1日(月)～3月5日(金)	3月10日(火)
大学入学共通テスト利用 選抜試験	中期	2月1日(月)～2月14日(日)	2021年 1月16日(土)・ 1月17日(日) / 1月30日(土)・ 1月31日(日)の 大学入学共通テスト
	後期	3月1日(月)～3月17日(火)	

2月～4月の主な予定

2月	1日	学部編入学・転入学（一般後期）試験
	2日	学部一般選抜試験前期
	4日～12日	学部後期補習・再試験
	10日	学部総合型選抜試験第3クール
3月	15日	大学院入試2次選抜（一般）
	16日	学部 H.I.T. 特別養成コース前期2次試験
	2日	学部 H.I.T. 特別養成コース中期2次試験
	5日	学部一般選抜試験後期
4月	10日	学部総合型選抜試験第4クール
	14日	オープンキャンパス
	19日	令和2年度学位記授与式
	5日	令和3年度入学式
	6日～8日	ガイダンス

第51回 工大一祭

10月30日、第51回工大一祭が開催された。今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、生徒と職員のみで実施した。

「一祭合祭大喝采」のスローガンのもと、1年生は縁日、2年生はコース展示、3年生は模擬店というように学年ごとにテーマを分け準備に取り組んだ。昨年に続き、地元企業とタイアップし、各企業の商品販売も行った。密を避けるために2つの体育館に分け、リモートで開会式を行い、3年生女子の創作ダンスの発表が行われた。



また、吹奏楽部の第49回定期演奏会も実施され、鑑賞している生徒からは大きな拍手が送られた。

工大一高クイズ王選手権や毎年恒例となっている大演芸大会なども開催された。大演芸大会ではゲストとして「お見送り芸人しんいち」さんにお越しいただき、場を盛り上げていただいた。

閉会式では、今回の工大一祭を振り返る思い出映像も流され、スローガンの通り大きな拍手で終えることができた。生徒達が、この成功体験を今後の高校生活に活かしてくれることを期待したい。

第73回全国高校バスケットボール選手権青森県予選 6年ぶり4回目の青森県優勝

令和2年11月14日～16日にかけて、第73回全国高校バスケットボール選手権（ウィンターカップ）青森県予選が青森市で開催され、本校は6年ぶり4回目の優勝を果たした。

初戦（vs.弘前工業高校）、2回戦（vs.八戸工業高校）、3回戦（vs.青森西高校）が青森東高校を会場に行われ、100点を超える得点で順当に勝ち上がった。準決勝・決勝は青森市の浪岡で行われ、準決勝は柴田学園高校に勝利、決勝は八戸学院光星高校と対戦して94-81と、県高校総体代替大会の雪辱を果たし見事優勝を勝ち取ることができた。キャプテンの菊池真史君（普通科進学コース

3年／十和田中）は、「全国大会は未知のステージなので、一戦一戦に全力を尽くし、自分たちの型にはまらないバスケットボールをしたい。」と全国の舞台へ向けて抱負を語った。全国大会は、12月23日～29日に東京都武蔵野の森総合スポーツプラザで開催された。

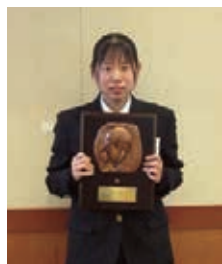


令和2年度
第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会出場
八戸工大一高
生徒会

将棋部女子大活躍！

県高総文祭将棋部門大会女子の部優勝

第41回青森県高校総合文化祭将棋部門大会が10月24日、おいらせ町みなく館で開催され、中村叶愛さん（普通科総合コース2年／江陽中）が女子個人戦で優勝を果たした。



中村さんは今回の優勝で、東北地区高等学校将棋新人大会（令和2年12月19日、岩手県盛岡市）と全国高等学校文化連盟将棋新人大会（令和3年1月28日～30日、兵庫県尼崎市）への出場権を獲得した。

女子アマ将棋団体戦で優秀新人賞を受賞

「第14回女子アマ将棋団体戦」（日本女子プロ将棋協会主催）が11月15日に行われ、中村叶愛さんが出場し、優秀新人賞を受賞した。オンラインで行われた今回の大会に、県内の女子強豪5人でAクラスに出場。チームとしての入賞は惜しくも逃したが、個人成績が評価されての受賞となった。



中村さんは「私が務めた三将戦の相手は五段、五段、四段、二段、二段、1級という強豪ばかりでした。その中で3勝をあげることができ、とても良い経験になりました。」と感想を述べた。

令和2年度 進路先(就職)一覧

令和3年1月7日現在

<県内企業(管内)>

青森ヤクルト販売(株)八戸スイングスクール
アルテックス(同)
岩手県北自動車(株)南部支社
(株)河原木電業
高周波鋳造(株)
(株)光洋鉄工
(株)サカイ引越センター八戸支店
三友建設工業(株)
(株)下館組 2名
新丸港運(株)
菅原ディーゼル(株)
スターゼントプロセッサ青森工場三戸ビルセンター
(株)セイシンハイテック
(株)セキノ興産 八戸店
(株)大成計装
大平洋金属(株)
(有)高橋工業

タクミホーム(株)
ツカハラエンタープライズ(株)
テクノクラフト・シーアンド・ヴィ(株)
寺下建設(株)
東京鉄鋼(株)八戸工場
南部電機(株)
(株)根城グリーン建設
(株)階上設備工業
八戸缶詰(株)
八戸製錬(株)八戸製錬所 3名
プライフーズ(株) 2名
(株)北奥設備
北斗運転代行
みちのく興業(株)
(株)ユニバース
(株)よこまち
<県内企業(管外)>
ATOM Works(株)

幸和エンジニアリング(株)
日本原燃分析(株)
日本フードパッカー(株)青森工場
(株)北神エンジニア
(株)マエダ

<県外企業>

アイリスオーヤマ(株)
イオスエンジニアリング&サービス(株)
いすゞ自動車(株)
関東シモナ物流(株)浦和営業所
高栄警備保障(株)
JR盛岡鉄道サービス(株)
住友電工電子ワイヤー(株) 2名
(医)星陵会
棚倉開発(株)棚倉田舎倶楽部
(株)ツルハ(ツルハドラッグ)
トビー工業(株)綾瀬製造所

トヨタ自動車(株)
日産自動車(株)
日本貨物鉄道(株)東北支社
日本金属(株)板橋工場
日本冶金工業(株)川崎製造所
東日本旅客鉄道(株)
(有)丸義工務所
向井建設(株)
山崎建設(株)東北支店
ユニオン建設(株)

<公務員>

宮城県警察
埼玉県警察
神奈川県警察
陸上自衛隊 7名
航空自衛隊 4名

毒物劇物取扱者試験合格

谷地光君(機械コース3年/市川中)が、一般毒物劇物取扱者試験に合格した。この資格は化学薬品などの毒物や劇物の取り扱いに関する国家資格である。谷地君は「自らのスキルアップの為に、資格取得に挑戦し続けてきました。試験前の1カ月間は、1日約3時間以上の勉強に励みました。努力の甲斐がありました。」と感想を述べた。



今年度二人目、危険物取扱者資格乙種全類取得

小川愛都君(土木コース3年/根城中)が、今年度本校から二人目となる危険物取扱者資格乙種全類取得をした。各所に該当する危険物を取り扱うことができる消防法で定められた国家資格である。小川君は「入学時からの目標であった乙種全類取得が達成出来て、本当に嬉しい。今後は、甲種の合格を目指して頑張ります。」と、喜びと決意を述べた。



クリーン白銀

11月2日、学校周辺の美化活動として継続して行ってきたクリーン白銀が実施された。今年度は2回目の開催であり、通算70回目となる。本行事は、学校周辺の美化活動を通じて地域社会への感謝と生徒の健全育成を目的に始まった。1~3年生の各学年から選出された総勢70名が参加し、日頃利用している通学路に落ちているゴミを拾い地域の美化に貢献した。



マイスター技術者指導

ものづくりマイスターによる溶接指導

10月26日・11月9日・16日の3日間、ものづくりマイスターによる溶接指導が本校機械コース溶接実習室を会場に行われた。中里政人志氏(青森県八戸溶接協会技術アドバイザー)を招き、工業科機械コース2年生を対象としてアーク溶接の技術指導を行っていただいた。生徒はプロの技術を目の当たりにして驚いていたが、技術を習得しようと真剣にアドバイスを聞き、早速実際の作業に活かしていた。生徒は「講師の方のアドバイスを意識し溶接をしたら、今までに無いくらい上手く溶接ができた。次回はこれ以上に上手くアーク溶接を行いたい。」と意気込んでいた。



ITマイスターによる技術指導

11月17日、岡本信也氏(青森職業能力開発協会ITマイスター)をお迎えし、「ウェブデザイン JAVAプログラミング」と題して工業科情報コース2年生を対象に実習を行っていただいた。昨今の日本を取り巻く世界の状況や激変する社会を生きていくヒント、ホームページ作成の基本的な技術であるHTML言語について教えていただいた。今回の実習をとおりて生徒は「今まで以上に情報や情報産業について関心を持つことが出来た。」と話していた。





満3歳組 遊戯
「グーチョキパーでパンプキン」

「かぼちゃにへんしんしたより」

年中組 遊戯「漁火太鼓」

「きめポーズ!かっこいいでしょ!!」

年長組 音楽劇
「ブレーメンの音楽隊」

「おいしいごちそう
いただきます」

年少組 遊戯
「ン・バカマーチ」

「ティアラとドレス、
すてきでしょ♡」

12月3日(木)、4日(金)の二日間に分けて行われたクリスマス会。子どもたちは寒さも何のその、嬉しそうにお家の人と一緒に登園してきた。いざ、開演となると、ステージ脇の控室で出番を待つ子どもたちは、衣装をつけてそわそわドキドキの様子。それでも幕が開くと練習の時よりも張り切って堂々と演じ、幕が閉まりきるまでポーズをとる子どもたちにたくさんの拍手が送られていた。今年は新型コロナウイルス感染症のため、会場に来られなかったサンタさんから声のメッセージとプレゼントに大喜びの子どもたち。サンタさんには会えなかったが、またひとつ楽しい思い出が増えた。

かたぐるま

おもいでをいつまでも

娘、息子がお世話になってから35年。今は孫が元気に通っております。あの頃の制服、制帽、カバンは何も変わらず、懐かしさを覚えます。

毎日バス停からの帰り道「今日も楽しかったよ」「〇〇ちゃんと遊んだの」「紙テープで制作したよ」などいろいろな話をしてくれます。いちばん感心したことは、道で会った人に挨拶できるようになったことです。

今、力が入っているのはクリスマス会の練習です。私達がお客さんになり、本番さながら繰

り返しお遊戯を練習しています。とても楽しそうです。このような体験を重ね、一段一段階段を登るように成長していくのでしょうか。これも木村園長先生はじめ先生方のあたたかいご指導のおかげだと思っていつも感謝しております。これからも「ほくとわたしたちのさくら幼稚園」であってほしいと願っております。



(かき組 佐藤理子ちゃんのおばあちゃん)
佐藤 幸子さん



ようちえんってこんなところ



～保育参観日・親子体育教室～



「さかだちできたよ!」

～勤労感謝の集い～



「りじちようせんせい、
ようちえんのためにありがとうございます!」

～おみせやさんごっこ～



「いらっしやいませ!」
かっこいいギターはいかがですか!



とらんぽりん

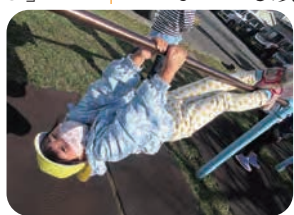
～ある日の保育日誌～



満3歳いちご組

11月19日(木)

ミミズを見つけた子どもたち。つつくたびに動くミミズに「わあー、きゃー」と叫んでいた。「ミミズさんは家に帰る途中だから、そっとしてあげよう」と伝えるが、動くのが面白いようで何度もつつく子がいた。一人の子が枝でミミズを持ち上げ移動させていたが、直接触るのは嫌なようで、ほんの一瞬触って「ぶにゅぶにゅしている」といっていた。その後、ダンゴムシを見つけては、皆で集まって観察するなど発見をしながらの外遊びを楽しんでいた。



「みてみて～!
てつぼうじょうずでしょ!」

年少組 11月17日(火)

今日は、風邪をひいている子が多く、休み明けの子もいたので、室内でゆったりと過ごした。クリスマス製作をすることを伝えると「玄関にも飾っていたよね」「プレゼントは何にしようかな」と、嬉しさでなかなか話が止まらないほど盛り上がっていた。久しぶりにのりを使っただけで、出来ない弱音を吐くかと思いきや「難しいな…でも頑張ろう」「もうお姉さんだから、先生が言っただけでわかるよ」と自信満々だった。

年中組 11月30日(月)

園庭に残っていた雪を見つけ「雪だー!!」「冷たーい」と大喜びの子どもたち。雪玉や小さな雪だるまを作っていたが「家に持って帰りたい」とビニール袋に雪だるまを入れ、周りの子から「溶けちゃうよ」「水になっちゃうから置いて行った方がいいよ」と言われムッとしていたので、「お母さんに見せたいの?」と聞くと「うん」の返事。どうなるか知る機会になると思い、袋の口をきつく結んであげると大事そうに持ち帰った。



～年長組、ちびっ子防災広場～
「しょうぼうしさんといっしょに
くんれん がんばるぞ!!」

年長組 11月11日(水)

今日の帰り、子どもたちは床に座って当番から肝油をもらった。女の子たちの列がテーブルに近かったため、当番が通ることができなかった。どうするか見てみると、「当番のために下がってあげよう」と言う子がいた。すると周りの子どもたちも声を掛け合って下がって通りやすくしていた。「テーブルが曲がっているから直そう」と声を掛ける子もいて、協力し合って直していた。折に触れ伝えてきたことをきちんと覚えてくれていた。

第2回校外学習



10月22日、今年度2回目の校外学習が実施され、八戸市内の歴史・文化を学ぶという目的で、櫛引八幡宮・八戸市博物館・是川縄文館の3か所を見学した。

櫛引八幡宮の国宝館では、赤糸威鎧（あかいとおどしよろい）や白糸威褰取鎧（しろいとおどしつまどりよろい）をはじめとする国宝2領、国重要文化財3領の鎧を見学した。生徒らは舞楽面や太刀など中世以来の文化財も見学し、鎌倉時代より受け継がれた壮観な宝物に感動していた。

八戸市博物館では、特別展「暮らしの中の手仕事」を見学し、藁や麻、木綿など、自然の草木を材料にした衣服や

道具がどのように作られていたのかを知ることができた。

根城の広場では、「主殿」と呼ばれる当主が儀式を執り行った建物を史跡ガイドの方から案内していただき、正月の儀式の様子や、道具類などを紹介していただいた。

最後は、是川縄文館にて国宝の合掌土偶や是川で出土した土器を見学し、その後勾玉づくり体験を行った。体験では、紙やすりを使って滑石を磨き、それぞれ気に入った色の紐を穴に通して首飾りを完成させた。

生徒は、「小学校の時よりも八戸の歴史を深く知り、当時の様子を考えながら見学することができた。」「昔の人はいろいろな知恵をもって生活していたと実感した。」といった感想を述べ、教科書ではあまり取り上げることの少ない八戸の歴史について興味関心を深めた。



3年生修学旅行

コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定していた海外研修の計画を大幅に変更し、10月15日～17日、生徒らは修学旅行で宮城県気仙沼市、石巻市、山形県天童市を訪れた。



生徒は、東日本大震災の被災地で語り部から震災当時のお話を聞いたり、復興状況を実際に見学したり、自然災害の恐ろしさとそれに屈しない現地の方の生き様に触れ、心を打たれたようであった。クラス全員が参加できたことは楽しい思い出でもあり、貴重な体験は成長の糧となったであろう。コロナ禍の中、無事に実施できたことは非常に幸運であった。

知財創造力育成授業

11月7日、三浦誠一氏（三浦特許商標事務所弁理士）を迎え、知財創造力育成授業が行われた。

前半、身近にある知的財産の権利について三浦氏から分かりやすく説明していただいた。次に、生徒が二人一組になり、用意された材料を使って高い塔を作り、頂上にボールを載せる発想トレーニングに取り組んだ。

後半は、工作授業を行い、おもりの重量に耐えられる紙の塔をできるだけ高く作る課題に挑戦した。塔の頂上におもりが載ったグループもあれば、途中で崩れてしまうグループもあったが、全員夢中になって取り組んでいた。



生徒らはこの授業から、私たちが日々目に見えているものは、様々なアイデアによって作られており、ものづくりにはひらめきや発想力が必要であることを学んだ。

○新型コロナウイルス感染症患者の発生について

12月初旬、本学の学生3名が新型コロナウイルス感染症に罹患していることが確認されました。学生・保護者の皆様、地域の皆様、関係の皆様には大変ご心配をおかけしております。

感染状況の把握、学内の消毒作業、感染拡大リスク低減等対応してまいりました。

本学は、この事態を重く受け止め、なお一層の感染防止対策に努めてまいります。

八戸工業大学学長 坂本禎智

表紙 八戸工業大学第二高等学校
美術コース誌上卒業制作展

理 事 会

◇10月23日 理事会

- ・「学校法人八戸工業大学非常勤講師就業規則」改正に関する件
- ・「八戸工業大学大学院学則」改正に関する件
- ・学校法人八戸工業大学資産運用に関する件

◇11月20日 理事会

- ・「学校法人八戸工業大学就業規則」改正に関する件
- ・「学校法人八戸工業大学有期雇用教職員就業規則」改正に関する件
- ・「八戸工業大学任期付研究員・任期付研究支援員規程」改正に関する件
- ・学校法人八戸工業大学資産運用に関する件